身だしなみの基本❶ 男性編

身だしなみは最も基本的なビジネススキル

◆人はまず、外見や態度で評価される。きちんとした身だしなみは相手への礼儀であり、社会人の基礎の「キ」

◆身だしなみはあなたのやる気や気づかい、会社の品格を周囲へアピールする情報発信ツールともいえる。誤解をされない装いを心がけよう

学生時代は、適当な服装に伸ばしっぱなしのヒゲ、寝癖のついた髪型でいても問題にはならなかったでしょうが、身だしなみは社会に出たら一番に直したい部分です。スーツをきちんと着こなすことは、仕事のひとつ。不潔感を漂わせただらしのない装いでは信頼感を得られません。仕事上の能力も疑われてしまうでしょう。あなたの外見が、あなたの会社の印象になるということも自覚しましょう。つまりあなた自身が「会社の顔」でもあるのです。自分が着たいデザインや着心地を優先するのではなく、接する人にとって「爽やかで感じがいい」と思ってもらう身だしなみを目指すのがポイントです。

スーツスタイルで気をつけたいこと

黒のスーツはあり？なし？

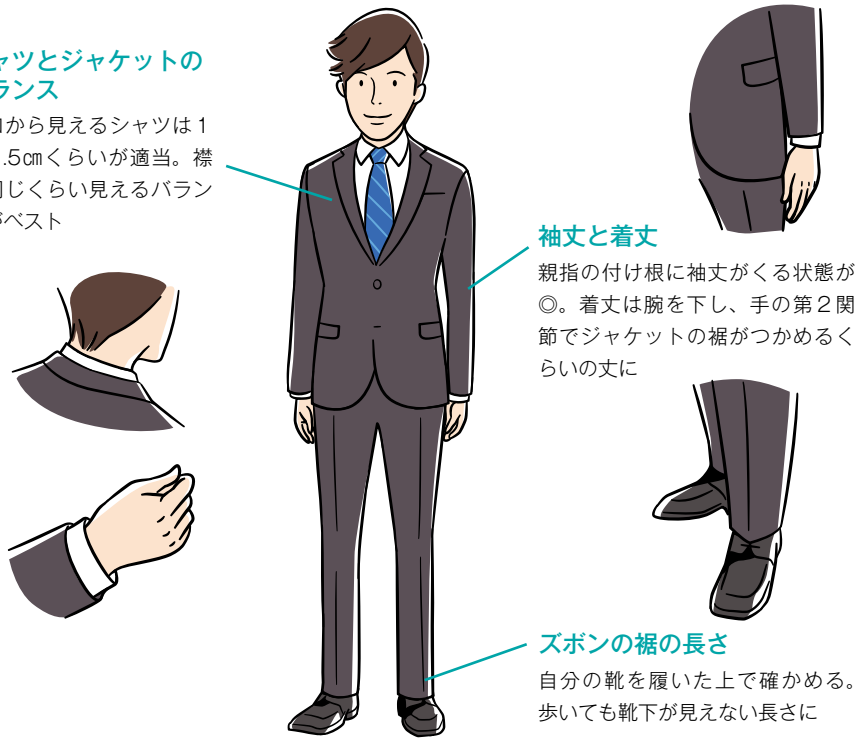
最近は黒のスーツが人気です。店頭でも街中でも男女問わず黒のスーツが目立ちます。しかし、本来黒は冠婚葬祭などフォーマルなシーンに着用するもの。周囲の人より格上に見えてしまうため注意が必要です。上司に対しても失礼にあたる場合があるので、新人のうちは黒は避けた方が無難でしょう。

✕ NG

- □スーツやシャツにシワがある
- □体のサイズに合っていない
- □シャツの襟ぐりや、袖ぐりが汚れている
- □スーツに白い靴下、くるぶし丈ソックスを組み合わせている
- □靴のつま先が汚れている
- □靴のかかと部分がすり減っている

清潔感のあるスーツスタイルの基本

新人のうちは、チャコールグレーと紺のスーツを揃えておくのがおすすめです。スーツはジャストサイズのものを着こなすことで、様になります。



自分に合うスーツを選ぶポイント

チェック項目	意識したい点
サイズ	ジャケットは肩幅や着丈が合っているものを。合わない部分は直してもらう。用途や社内の立場を店員に伝え、見立ててもらうと確実
色と柄	紺やグレーなどの抑えめの色で無地が◎。ストライプなどの柄物もおしゃれだが、新人のうちは控えめなものを選ぼう
ランク	ハイブランドのものは華美な印象を与えかねないので注意。上司の着ているスーツや取引先とのバランスも考慮して、高すぎるものは避けよう。値段は結婚式のご祝儀と同等に、新人は３万、主任クラスは５万、管理職は 10 万を目安に
枚数	理想は４着だが、最低３着あるとローテーションで着られる